



ウォッシュャブル 全点对应

(社)日本インテリアファブリックス協会(NIF)の統一マークです。

ご家庭の洗濯機で手軽に丸洗いができます。
収縮がほとんどなく、早く乾きます。

使用上のご注意

- カーテン縫製は、ポリエステル製芯地・縫製系をご使用ください。
- フックなどは必ず取外して洗濯してください。
- 脱水は、ある程度たたんで軽くかけてください。
- 乾燥機の使用はご遠慮ください。縮み等の原因となります。
- 陰干しをしてください。

[機能性基準]

試験項目	基準
寸法変化率	タテ±1%以内 ヨコ±2%以内
外観	外観が良好であること
染色堅牢度	変退色4級以上 汚染4級以上

※試験は生地で行っていますので、最終の縫製された製品を窓に吊った状態との数値とは異なる場合もありますのでご了承ください。



遮光

(社)日本インテリアファブリックス協会(NIF)の統一マークです。

遮光性能を持たせ、光がもれにくいカーテンです。
遮光率を基準に、それぞれ遮光1級・2級・3級と表示しました。遮光1級については、NIF法に基づき5段階に分類し表記しております。

遮光性能表により用途・目的に応じてご使用ください。

使用上のご注意

- 本遮光率は生地の遮光率を表すものであり、カーテンの縫製方法、レールの取付方法によって、室内の照度は変動しますのでご注意ください。特に、1級の生地を使用される場合には、上部、下部、サイド、合わせ目、ピンホール等による光の漏れが気になりますのでご注意ください。
- 各照度と状態表現の関係については照明学会編「ライティングハンドブック」に基づいています。

[機能性基準] 遮光性能表

試験方法：JIS L 1055 A 法

等級	遮光1級	遮光2級	遮光3級
遮光率	99.99%以上	99.80%以上～ 99.99%未満	99.40%以上～ 99.80%未満
照度	0ルクス以上～ 10ルクス以下	10ルクス超～ 200ルクス以下	200ルクス超～ 600ルクス以下
照度に関する状態表現	人の顔の表情が 識別できない レベル	人の顔 あるいは表情が わかるレベル	人の表情はわかるが 事務作業には 暗いレベル

※ラミネート加工やコーティング加工の遮光性カーテンは、ご使用条件により樹脂が劣化しクリーニングできない場合があります。その場合には、表面のホコリを掃除機で吸い取り、表面は軽く水分を含んだスポンジで汚れを取るようしてください。

※遮光率(級)はあくまで試験基準によるものです。吊った際に視覚的に相違を感じる場合があります。また、遮光1級は「完全遮光」を意味するものではありません。

※照度に関する状態表現は、各遮光級カーテンを開めた場合の室内状態の目安として記載しています。

遮光カーテンの遮光性評価方法 NIF法(特許 第5437308号)

■ 遮光1級(A++)～(C)

遮光率99.99%以上の遮光1級は「人の顔の表情が識別できないレベル」の暗さを担保していますが、人の視覚は非常に敏感で、かすかな光も捉えることができるためNIFではNIF法(特許 第5437308号)に基づき遮光1級を更に5段階に分類し表記しております。

表記	目視度合 (イメージ)	状態説明
遮光1級 (A++)		生地からほとんど光を感じません。
遮光1級 (A+)		生地からわずかに光を感じます。
遮光1級 (A)		生地から光を感じるが、 生地の織り組織や色は分かりません。
遮光1級 (B)		生地から光を感じ、 生地の織り組織や色も分かります。
遮光1級 (C)		生地全体は薄明るく見えるが、 人の表情が識別できない暗さです。

NIF法(特許 第5437308号)

暗室内の電照パネル上に遮光1級のカーテンなどの試験体をかざし、全体的な光の透過の見え方、光漏れの有無や多寡を目視で判定し、光を遮蔽する度合により区分します。

遮光1級の商品一覧

品番	表記	品番	表記
ET 567	(C)	ET 592	(C)
ET 569	(C)	ET 593	(C)
ET 587	(C)	ET 594	(C)
ET 588	(C)	ET 602	(C)
ET 589	(C)	ET 603	(C)

機能説明



防汚

洗濯時に汚れが落ちやすいカーテンです。汚れが気になり始めたら洗濯してもとの白さに。ご家庭でも汚れを落としやすく、また洗濯液からの再汚染も少なく、白さを長く保つことができます。



遮熱カーテン (レース)

(社)日本インテリアファブリックス協会(NIF)の統一マークです。

遮熱効果を持たせたカーテンです。

[判定基準] 次の判定基準に合格するものを適合品とする。

一般のシアーカーテンと比較して、節電対策上の相対的効果が認められ、判定基準に適合するシアーカーテン及びスクリーン類に表示。

項目	判定基準	試験方法
遮熱率	25%以上・小数点第1位四捨五入	カケンレフランプ法 (インテリア)
遮光率	99.4%未満 (採光率0.6%以上)	JIS L 1055 A法

UVカット効果

レース全点にUVカット率のランクを生地の下に表示しています。

室内の日焼けなどの原因といわれる紫外線のカット率を、独自の基準で3ランクに分けました。

UVカット率 70% 以上

太陽光が強く差し込む部屋に最適です。



UVカット率 50%~70%

適度な透け感と、紫外線カットの効果がある商品です。



UVカット率 50% 未満

デザイン性や薄地特有の透け感を生かした商品です。



試験方法：分光光度計・全波長域平均法 (250mm~400mm)



遮像

特殊な原糸形状 (四つ山偏平糸) の乱反射を使い日中・夜間のプライバシーを守ります。

寸法変化率の表示について

各商品ごとに寸法変化率 水洗い (タテ・ヨコ)・ドライ (タテ・ヨコ) を表示しております。これらの数値は下記JIS試験に基づいて表示しています。

寸法変化率 (%) … 水洗い (タテ・ヨコ) : JIS L 1096 D法
ドライ (タテ・ヨコ) : JIS L 1096 J-1法

カーテンの取扱い表示について

洗濯などの取扱方法を日本工業規格 (JIS L 0001) に基づいて表示しています。洗濯やアイロン掛けをする際は、必ず取扱い表示をご確認ください。クリーニング業者には、取扱い表示に基づき洗濯するようご依頼ください。

洗い方	漂白	乾燥 (干し方)	アイロン	ドライクリーニング	ウェットクリーニング
液温は、40℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯処理ができる。	漂白処理はできない。	洗濯処理後のタンブル乾燥処理はできない。 日陰でのつり干し乾燥がよい。	底面温度110℃を限度としてスチームなしでアイロン仕上げ処理ができる。 アイロン仕上げ処理はできない。	石油系溶剤 (蒸留温度150℃~210℃、引火点38℃~) での弱いドライクリーニング処理ができる。	弱いウェットクリーニング処理ができる。

※タンブル乾燥は避けてください。ドラム式乾燥機の乾燥は、風合い・寸法変化が起きることがあります。使用は避けてください。

○ 取扱い表示 家庭用品品質表示法に基づき、適切なメンテナンスが行えるよう、それぞれのカーテンに合った取扱い表示を生地4mに付1枚添付しています。

取扱い表示一覧

価格表に記載してある取扱い表示の内容について、下図をご参照ください。なお、生地をご注文いただいた際は、それぞれのカーテンに合った取扱い表示ラベルを生地4mにつき1枚同封の上出荷しております。

リ-30

あて布使用

左記リ-30の取扱い表示は、形態安定・形状記憶加工後に、取扱い表示が変わります。

リ-33

形状記憶・形態安定加工品

プライバシー

プライバシー保護の効果をカーテンの遮光率をもとに、商品サンプルの下に表示しています。

自社基準

- 商品全点の遮光率 (JIS L 1055 A法) を基準に生地規格も含め判別。
- レースは昼間の室内の見え方や、ミラーレースなど反射で室内が見えなくなる規格商品。
- 上記2項目を基準にレースは **プライバシー①～③** の3段階に分類。
※プライバシー表示は、あくまでご購入の際の参考目安として表示しています。

昼のプライバシー レースの場合

昼間の室内は生地越しにどのように見えているのか？

<試験方法>

昼間(自然光)の実際の窓周りの条件下(下写真)で、室内照明を点灯し遮光率の異なるレースを設置し、室内の透け具合を確認、透け方によって3段階に分類。

プライバシー等級	数値基準 (遮光率)	プライバシー等級の効果
プライバシー①	70%以上	室内がほとんど透けて見えない。もしくは反射面がある。
プライバシー②	50%以上～70%未満	室内がうっすらと透けて見える。
プライバシー③	50%未満	室内が透けて見えやすい。

高い遮光性
低い

※遮光率が高いほどプライバシー性能は高くなります。また、反射面を有することでもプライバシー性能は高くなります。

※個々の使用条件(照明の設置場所、向き、明るさ、日照、窓ガラスの反射率等)により効果は異なります。



プライバシー①



プライバシー②



プライバシー③

※施工写真は参考写真であり目安の一例です。実際は生地ごとに内外からの見え方が違ってきますので商品ごとに確認することをお勧めします。



ミラーレース

日中のプライバシーを守るミラーレースです。



ミラーレース



一般レース ※施工写真は参考イメージによるものです。

■ プライバシー保護

ハーフミラーのように昼間、太陽光などの室外からの光を反射させプライバシーを守ります。特に昼間の太陽光が入りやすい窓にお勧めです。